



旧江刈川分校の周辺を黛さんと散策する子どもたち

# 黛まどかさんの 授業とトークを楽しむ

十一月六日は、旧江刈川分校で俳句教室が開かれ、小学生が黛まどかさんから俳句の作り方を学びました。コンテスト表彰式の後には、入賞作品の講評を交えた黛さんのトークを楽しみました。

教室に参加したのは、葛巻小と江刈小の四年から六年生までの三十一人。教室で黛さんから俳句を作るための五・七・五の形式や季語について指導を受けた後、旧校舎の周辺を吟行しました。

子どもたちは、水車や紅葉などの風景に目を止めながら、心で感じたことを素直に詠み、十七文字で表現する楽しさを学びました。トークショーでは、入賞者から作品にまつわるエピソードを聴いたり、黛さんが講評しながら俳句の楽しさを伝えました。俳句授業の作品も紹介され、子



トークショーで俳句の魅力伝える黛さん

どもたちの感性の素晴らしさに黛さんも感心していました。五十年に及ぶ葛巻俳句会の活動や学校での取り組みなどが基盤となり、全国レベルの俳句コンテストで入賞するなど、町民の活躍が見られるようになってきました。

黛さんは「葛巻は現代社会が失った宝物をもっています。それが葛巻の豊かさ。俳句を通して、その宝を再発見してもらいたいと思います」と呼び掛けました。

## 俳句の授業作品から

秋空が金の光りをそそいでる  
 神小路 葉（葛巻小五年）  
 まど開けたあのころの秋が会いに来た  
 冬澤佳奈恵（江刈小五年）  
 水車の音激しくひびき秋の山  
 上山咲野花（葛巻小六年）  
 てつぼうの朝つゆ一つ水が澄む  
 坂本 蒼（葛巻小五年）

### 第4回俳句コンテスト応募の概要

- 作品テーマ 「風」と「恋」
- 部門 一般・高校生・中学生・幼児小学生
- 応募期間 平成17年6月1日から平成17年9月12日まで
- 応募総数 6,912句（風4,312句、恋2,600句）

都道府県別投句数									
県名	応募数	県名	応募数	県名	応募数	県名	応募数	県名	応募数
町内	1,324	埼玉	633	静岡	86	岡山	17	大分	27
北海道	174	千葉	147	愛知	133	広島	36	宮崎	7
青森	215	東京	289	三重	107	山口	108	鹿児島	14
岩手	1,241	神奈川	217	滋賀	176	徳島	7	沖縄	12
宮城	59	新潟	31	京都	90	香川	26	アメリカ	17
秋田	91	富山	30	大阪	281	愛媛	85	イギリス	1
山形	66	石川	31	兵庫	109	高知	13	イタリア	8
福島	163	福井	48	奈良	34	福岡	115	ブラジル	12
茨城	40	山梨	15	和歌山	94	佐賀	7		
栃木	23	長野	69	鳥取	54	長崎	57		
群馬	84	岐阜	36	島根	111	熊本	42	合計	6,912

### 黛まどか町民特別賞

お話のつづきはまたね花菜風  
 池の面風が押し行く鱗雲  
 吾子の髪撫でゆく風の光りけり  
 袖山に風生まれけり吾亦紅  
 ふるさとの風さわやかに蕎麦の花  
 はるかぜにつばめのこともうたいたす  
 君がいた夏あの風を仰ぐ空  
 母校にて落書き見つけ赤りんご  
 ははの日にまた手つたうよおかあさん  
 つくしんぼなかよく空へせいくらべ

恋  
 入月美穂子（田の沢）  
 齋藤 誠子（下町）  
 遠藤香津良（城内小路）  
 木戸場正子（小苗代）  
 入月 俊昭（橋場）  
 村上 奈未（五日市二年）  
 石角 則行（茶屋場）  
 坂本 牧子（浦子内）  
 芳田 美紅（吉ヶ沢小二年）  
 赤坂 真奈（葛巻小四年）

風  
 入月美穂子（田の沢）  
 齋藤 誠子（下町）  
 遠藤香津良（城内小路）  
 木戸場正子（小苗代）  
 入月 俊昭（橋場）  
 村上 奈未（五日市二年）  
 石角 則行（茶屋場）  
 坂本 牧子（浦子内）  
 芳田 美紅（吉ヶ沢小二年）  
 赤坂 真奈（葛巻小四年）